枚方市におけるひきこもり等の子ども・若者支援について

令和７年度の活動報告



枚方市 子ども未来部
まるっとこどもセンター

目　次

【１】枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター
１．枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター　1 p
２．場所　1 p
３．相談体制　1 p
４．相談支援状況　2 p
５．居場所支援　7 p
６．家族の会　8 p

【２】市民啓発等
１．子ども・若者支援のためのイベント　9 p
２．子ども・若者支援のための市民講座　10 p
３．ひきこもり女子会　in　OSAKA ２市　10 p
４．職員による出前講座　11 p

【３】枚方市子ども・若者支援地域協議会
１．令和７年度の活動状況　12 p
２．実務者会議（ひきこもり等地域支援ネットワーク会議）の実施状況　15 p

[資料１]　「ひらぽう」第45報
[資料２]　「子ども・若者支援のためのイベント」チラシ
[資料３]　「子ども・若者支援のための市民講座」チラシ
[資料４]　「ひきこもり女子会 in OSAKA ２市」チラシ
[資料５]　「枚方市子ども・若者支援地域協議会設置要綱」

【１】枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

１．枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター

枚方市では、平成 25 年４月に「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」を設置し、15 歳からおおむね 39 歳までの不登校やひきこもり等に関する相談をお受けし、継続して対応方法や支援を考えています。必要に応じて、より適した支援機関等にもおつなぎします。次のステップとしての居場所支援や、家族の会を行っています。

２．場所

枚方市子ども未来部まるっとこどもセンター内に窓口を設置しています。
専用の相談室が２部屋あります。
住所：〒573-0032 枚方市岡東町 19-1 OFFICE A 6 階（ステーションヒル枚方）





３．相談体制

相談には、電話相談と面接相談等があります（専用電話設置）。面接相談は事前に予約をお願いしています。

窓口には、臨床心理士や社会福祉士等の資格を有する職員を配置し、関係機関と連携しながら対応しています。

職員のスキルアップのため、年に４回、外部講師による継続的なスーパーヴァイズを実施するほか、各種研修にも参加しました。

４．相談支援状況

＜延べ相談支援件数＞

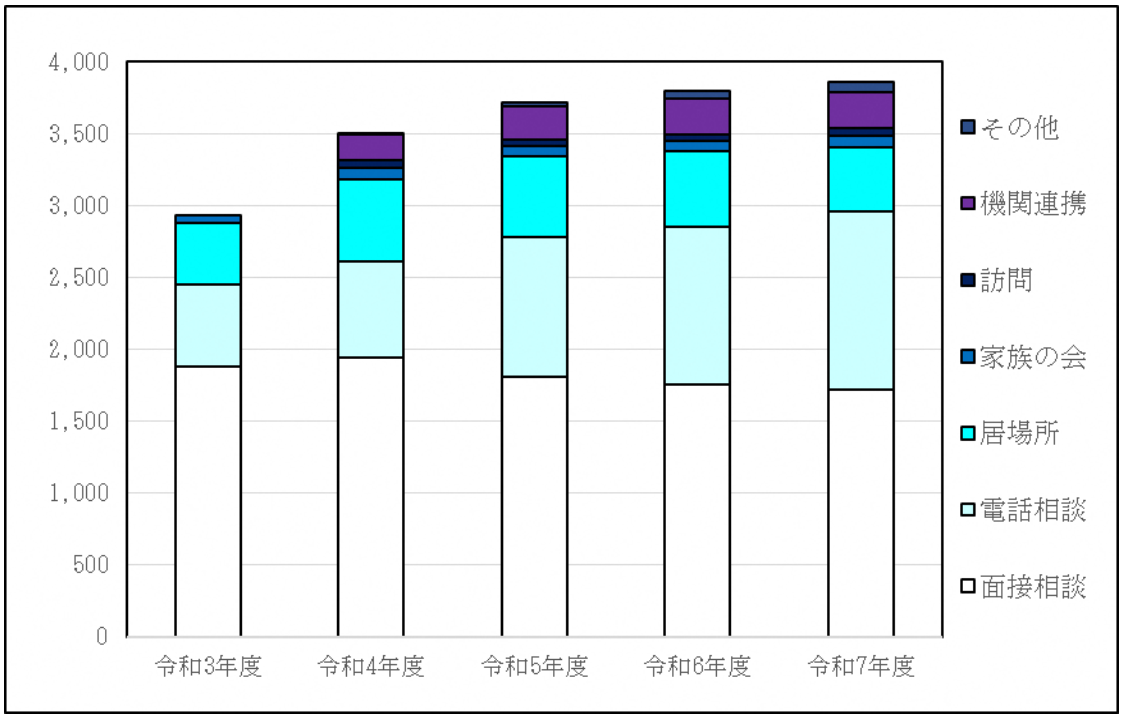
○相談支援件数

令和７年度の延べ相談支援件数は 3,860 件でした。内訳は面接相談が 1,716 件、電話相談が 1,243 件、居場所支援が 445 件、家族の会が 83 件、訪問が 52 件、機関連携が 251 件、その他 70 件でした。

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
面接相談	1,881	1,944	1,807	1,759	1,716
電話相談	565	671	973	1,097	1,243
居場所	430	564	565	524	445
家族の会	59	85	68	69	83
訪問	(53)	49	43	42	52
機関連携	(142)	185	234	254	251
その他	―	9	25	55	70
計(件・延べ)	2,935	3,507	3,715	3,800	3,860

※令和３年度以前の（　）内の数は上記の項目に含めていたが、令和４年度より訪問・機関連携・その他を抜き出してカウントすることとした。

相談件数の推移



○訪問支援

継続相談の中で、必要に応じて訪問支援を行いました。家庭訪問が 27 件、ご本人やご家族と一緒に各窓口に同行する同行訪問は 25 件でした。

（同行訪問先）

居場所支援「ひらぽ」、就労支援機関、市役所各窓口、医療機関など（多い順に抜粋）。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
家庭訪問	40	37	23	25	27
同行訪問	13	12	20	17	25
計(件・延べ)	53	49	43	42	52

○機関連携

ご本人やご家族の了承のもと、他機関に紹介するための事前連絡や、状況の共有、支援のための協議など、機関との連携を行いました。

（連携機関）

市役所各窓口（健康福祉総合相談課、生活福祉課、保健所（保健医療課）など）、就労支援機関、障害福祉関係機関、社会福祉協議会、医療機関など（多い順に抜粋）

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
機関連携(件・延べ)	142	185	234	254	251

＜実相談ケース数＞

令和７年度の実相談ケース数が 297 件、そのうち新規相談が 118 件でした。

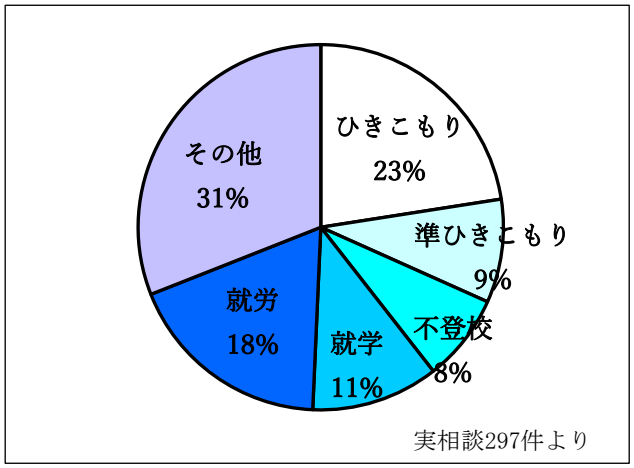
	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
実相談（件）	246	262	268	275	297
新規相談（件）	82	87	94	107	118

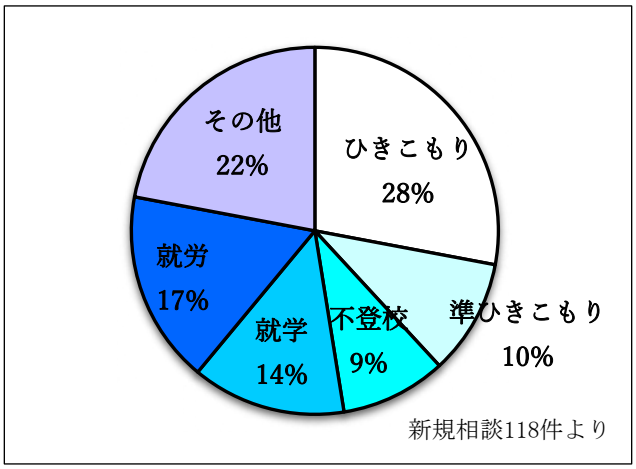
○相談内容

相談内容は、ひきこもりと準ひきこもりについての相談が合わせて 32%、不登校と就学の相談が合わせて 19%、就労の相談が 18%でした。

そのうち、新規相談の相談内容の内訳については、ひきこもりと準ひきこもりについての相談が合わせて 38%、不登校と就学の相談が合わせて 23%、就労の相談が 17%でした。

ひきこもり　自室からほとんど出ない、自室からは出るが家から出ない。
普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける。
準ひきこもり　ふだんは家にいるが自分の趣味に関する用事のときだけ外出する。

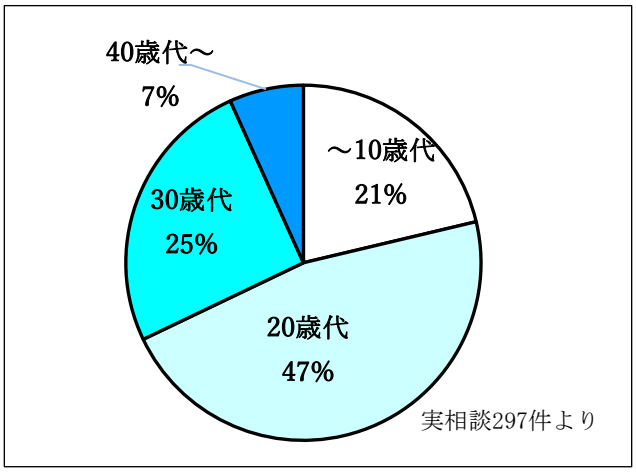


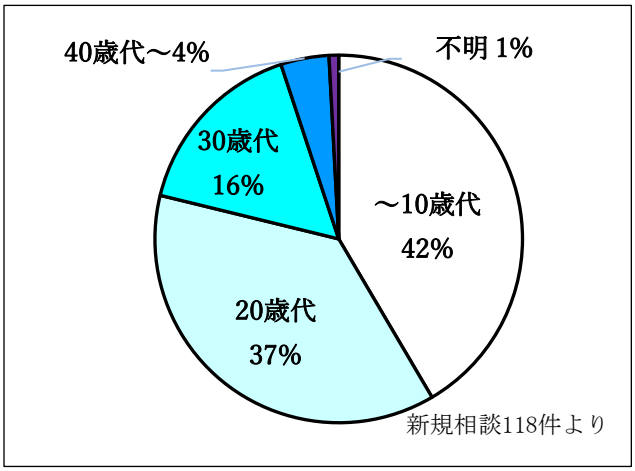


○相談対象者の年代

相談対象者の年代は、20 代の相談が 47%と一番多く、次に 30 代、10 代の相談と続きます。また、一定数、40 代以上の方の相談もあるという現状です。

そのうち、新規相談の内訳については、10 代の相談が 42%と一番多く、20 代と合わせると 79%と早い段階から相談につながっていることがうかがえます。

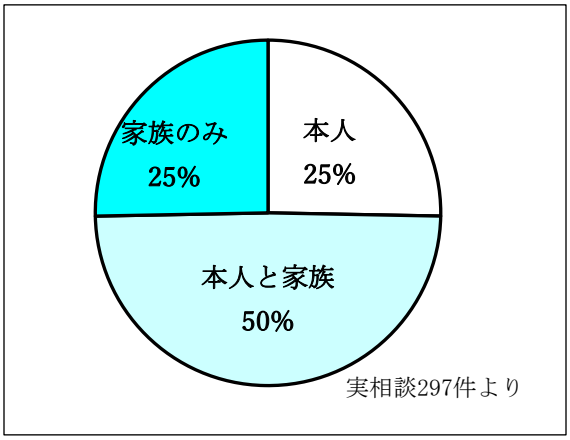


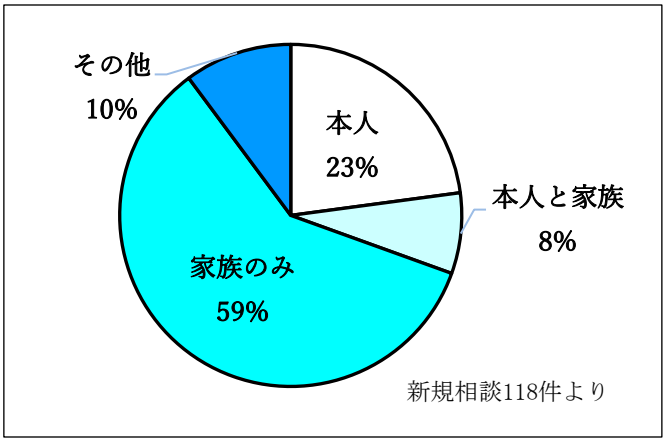


○相談者

相談者については、本人、もしくは本人と家族から相談をお受けしているケースがあわせて 75%、家族のみの相談が 25%でした。

そのうち、新規相談の初回相談者については、本人、もしくは本人と家族からの相談が 31%、家族のみの相談が 59%でした。初回相談の多くは、家族からの相談でした。また、その他として、関係者（知人、関係機関の支援者など）からの相談もありました。





○性別

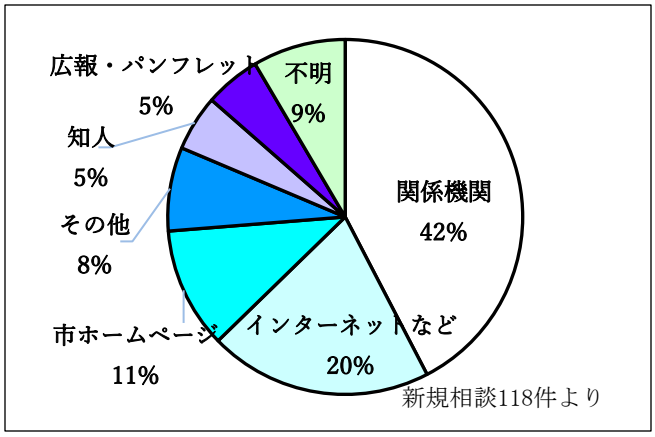
新規相談の相談対象者の性別については、男性が 60%、女性が 37%でした。

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
男性	51（62.2%）	58(66.7%)	58(61.7%)	61(57%)	71(60%)
女性	28（34.1%）	22(25.3%)	33(35.1%)	43(40%)	44(37%)
不明	3（3.7%）	7(8.0%)	3(3.1%)	3(3%)	3(3%)
計（件）	82	87	94	107	118

○相談経路

ひきこもり等子ども・若者相談支援センターを知ったきっかけは、関係機関からの紹介が 42%と一番多く、次いで、インターネット、市ホームページとなっています。

（関係機関）
市役所各窓口（家庭児童相談、健康福祉総合相談課、保健所など）、医療機関など（多い順に抜粋）。



○居住地

対象は市内在住の方ですが、市外からの相談もありました。一旦お聴きして、他市で利用できる相談窓口の情報提供を行っています。

市内	市外	不明	計（件）
109(92%)	6(5%)	3(3%)	118

＜支援による変化＞

継続的な支援を行っているケースと、継続支援ののち令和７年度に終結したケースを対象に、令和８年３月 31 日時点における状況を確認し、来所時との変化を比較しました。

対象ケース（234 件）の内、「居場所支援へ参加できる」や「就労等を開始することができる」など＜社会参加に向けた行動＞を 10 の段階で表した指標においては、68.4％が来所時より社会参加の方向に変化しました。「家族以外からの働きかけに応じる」や「小集団の中でコミュニケーションができる」など対人関係における＜コミュニケーション＞を 10 の段階で表した指標においては、67.1％が来所時より適応の方向に変化しました。

＜社会参加に向けた行動＞

	R4.3.31 時点	R5.3.31 時点	R6.3.31 時点	R7.3.31 時点	R8.3.31 時点
来所時より社会参加の方向に変化した割合	64.1%	67.5%	62.8%	64.8%	68.4%
対象ケース数	206	203	218	213	234

＜コミュニケーション＞

	R4.3.31 時点	R5.3.31 時点	R6.3.31 時点	R7.3.31 時点	R8.3.31 時点
来所時より適応の方向に変化した割合	67.0%	70.0%	63.8%	67.1%	67.1%
対象ケース数	206	203	218	213	234

※自立方向への進み方は人それぞれで、必ずしも、順番に進み、10 段階目が最終目標となるわけではありません。

ひきこもり支援においては、就労や就学、外出の増加といった、状況の変化だけでなく、一人一人の状態に応じた変化も大切な指標と考えています。このため、指標による数値的な変化に加え、「家族とのほどよい距離を保ちながら、安定して生活できるようになった」や「本人なりの目標や希望をもって生活できるようになった」など、数値では捉えにくい質的な変化についても、支援の成果として捉えています。

自立への進み方は一人ひとり異なるものであり、本人なりの自立を応援しているところです。

５．居場所支援

ひきこもり等の子ども・若者が社会に参加するきっかけとするためのスモールステップとして、平成 26 年度より枚方公園青少年センター等を活用し、居場所支援事業「ひらぽ」を実施しています。相談員との個別面接の次のステップとして４、５人の若者がスタッフと一緒にさまざまな活動を体験する中で、社会とのつながりを築いていくことを目指しています。実際の活動においては、専門のコーディネーターを配置し、「サポートフレンド養成講座」を受講したサポートフレンド※1（登録者 27 名）の協力を得て、創作、ゲーム、屋外活動を行いました。

居場所支援事業「ひらぽ」の活動を中心に、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの取り組みを広報する通信「ひらぽう」※2［資料１］を発行しました。若者が記事を企画、執筆するなど、作成に参加します。

居場所支援事業と並行して、個別の面接相談も継続し、ひとりひとりに合った支援を行っています。

令和７年度は、毎週水曜日と、他の曜日に月２、３回開催し、計 90 回、参加延べ人数は 445 人でした（実人数 36 人／令和６年度は 33 人、令和５年度は 28 人、令和４年度は 26 人）。令和６年度に引き続き、午後６時からの「夜ひらぽ」を３回開催しました。７月と３月は就職したひらぽ卒業生も含む、30 歳以上の方を対象として、11 月は参加者の年齢制限を設けず開催しました。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開所回数	8	7	8	9	5	8	8	8	7	7	6	9	90　回
参加延べ人数	38	42	44	44	34	42	40	44	31	23	25	38	445　人

またサポートフレンドを対象に、研修会を実施し、居場所活動についての情報共有や居場所活動での支援内容の検討を継続して行いました。

※1　サポートフレンド
サポートフレンドとは、サポートフレンド養成講座を受講し、地域の中で、不登校やひきこもりなど、さまざまな生きづらさを感じている子ども・若者の理解者となる存在です。サポートフレンドの活動のひとつとして、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターのイベントや居場所支援「ひらぽ」の活動に協力してもらっています。

※２　ひらぽう
ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの取り組みについて、具体的に知っていただくため、センターや居場所の活動、居場所に参加する若者からのメッセージを紹介しています。市のホームページに掲載し、関係機関にも配布しています。

６．家族の会

月に一回、相談支援センターの相談者を対象に同じ悩みを持つ家族の相互理解や交流を目的として、家族の会を開催しました。

令和７年度は実施が 11 回、参加延べ人数は 88 人（83 家族）でした。

テーマ

４月	ひきこもり支援のプログラムについて ―枚方市内を中心に―
５月	生活保護制度について ―いざというとき、慌てないために―
６月	睡眠と健康
７月	若者支援の中で見えてきたこと ―不登校の子どもの選択肢を中心に―
９月	障害がある人が通える事業所について
10月	いよいよ食欲の秋、到来！ ―寿司ドーナッツづくり―
11月	ひきこもっていた人の話を聴く （経験者の体験談）
12月	精神科医をお迎えして ―当事者や家族が医療とつながるということ―
１月	訪問看護やデイケアについて
２月	障害者手帳と障害年金について
３月	私たちが子どもから学んだこと （父と母の体験談）

・開催日時は毎月第３金曜日午後２時から４時
・８月は休み

【２】市民啓発等

１．子ども・若者支援のためのイベント

『つながる相談会 in ひらかた

～定時制高校・通信制高校・高等専修学校など～』 ［資料２］

中学校卒業以降の進路には多様な選択肢があることを、ひきこもりや不登校等、さまざまな生きづらさを感じている子ども・若者やその家族に届けるためのイベントを開催しました。ひとりひとりに合った学び方に触れていただくこととあわせて、相談窓口の情報を知っていただくために、第二部（個別相談会）では、ひきこもり等子ども・若者相談支援センターなど相談窓口の紹介とともに、枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会にもご参加いただきました。

日時：令和７年９月 27 日　13:00～17:00

場所：ラポールひらかた　大研修室
　　第一部　参加校によるパネルディスカッション～さまざまな学びと選択の方法～
　　第二部　各ブースにて個別相談会

参加校：寝屋川高等学校　定時制の課程
　　大手前高等学校・定時制の課程
　　近畿情報高等専修学校
　　長尾谷高等学校
　　あおい教育支援グループ
　　KEC 高等学院
　　KG 高等学院・枚方キャンパス

参加者：第一部　97 名
　　第二部　42 組（延べ）

２．子ども・若者支援のための市民講座

『ひきこもりと家族の回復～生きづらさとどう向き合うか～』　［資料３］

ひきこもりや不登校等、さまざまな生きづらさを感じている子ども・若者の現状や自立に向けた取り組みについて、市民の皆様により広く、深く知っていただくために市民講座を開催しています。

令和７年度は、精神科医としてひきこもりや発達障害等の高校生以上の方の診療にあたっておられる講師をお招きし、ひきこもりや家族支援についてご講演いただき、より楽に生きるために大切なことや、家族対応のヒントを学びました。

また、会場にお越しいただくことが難しい方に向けて動画配信（オンデマンド）も実施しました。

日時：（会場開催）令和７年 11 月 21 日　10:00～12:00
（動画配信）令和７年 12 月５日～令和８年１月５日

場所：枚方市総合文化芸術センター別館　大会議室

講師：早稲田メンタルクリニック 院長　益田 裕介　氏

参加者：（会場）65 名　　動画申込：180 名

３．ひきこもり女子会　in　OSAKA ２市

［資料４］

ひきこもり状態であったり、対人関係に難しさを感じているなど、さまざまな生きづらさを抱えている女性の方を対象に、安心して交流できる機会として、当事者会を開催しました。枚方市及び和泉市で開催し、枚方会場では以下のとおり実施しました。

日時：令和８年３月６日（金）

場所：ラポールひらかた　大研修室
第一部　ひきこもり経験者の「体験談トーク」
講師：（一社）ひきこもり UX 会議
第二部　当事者・経験者のみのグループトーク

参加者：第一部　31 名
第二部　15 名

４．職員による出前講座等

文化生涯学習課で実施している「職員による出前講座」に「若者の置かれている現状 ―ひきこもり・ニートを中心に―」をメニューとして上げています。市民や支援者を対象とした団体等からも依頼があり、令和７年度は６件の申し込みがあり実施しました。また、この他に、全国の自治体より視察の受入れも行いました。

①職員による出前講座「なんでも、どこでも出前塾」
団体名：枚方市民生委員児童委員協議会
日　時：令和７年５月 22 日
場　所：菅原生涯学習市民センター
テーマ：枚方市におけるひきこもり等子ども・若者支援の取り組み
対　象：田口山・菅原東・藤阪地区委員会

②職員による出前講座「なんでも、どこでも出前塾」
団体名：枚方子ども会議
日　時：令和７年６月 21 日
場　所：枚方市総合文化芸術センター　別館
テーマ：生きづらさを抱える子ども・若者に寄り添って
　　～ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの取り組み～
対　象：枚方市民

③令和７年度居場所づくり事業「作り方講座」
団体名：大阪府福祉部子ども家庭局青少年支援課
日　時：令和７年８月５日
開催方法：オンライン
テーマ：居場所づくりに関する枚方市の取り組み
対　象：大阪府内市町村の支援機関

④職員による出前講座「なんでも、どこでも出前塾」
団体名：枚方市民生委員児童委員協議会
日　時：令和７年 10 月 27 日
場　所：ラポールひらかた
テーマ：枚方市におけるひきこもり等子ども・若者支援の取り組み
対　象：禁野・磯島地区委員会

⑤多職種連携研究会
団体名：枚方市地域包括支援センターアイリス
日　時：令和７年 12 月 11 日
場　所：香里ヶ丘図書館
テーマ：『家族支援の重要性』（テーマに基づいた意見交流）
対　象：介護保険事業所や医療機関等

⑥職員による出前講座「なんでも、どこでも出前塾」
団体名：枚方市民生委員児童委員協議会
日　時：令和８年２月 24 日
場　所：山田会館
テーマ：生きづらさを抱える子ども・若者に寄り添って
　　～ひきこもり等子ども・若者相談支援センターの取り組み～
対　象：山田・山田東・交北地区委員会

○その他（視察等の受入れ）

那須塩原市議会	令和７年７月 28 日（月）
三島市議会	令和７年８月５日（火）
岐阜県立看護大学	令和７年９月 11 日（木）
箕面市教育委員会	令和７年 10 月１日（水）
大阪府こころの健康総合センター	令和７年 12 月 19 日（木）

【３】枚方市子ども・若者支援地域協議会

１.令和７年度の活動状況

［資料５］

ひきこもりや不登校、就労などの相談機関・関係機関のネットワーク構築のため、平成24年６月より枚方市内で活動している各関係機関に呼びかけて、枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議を設置しました。平成30年３月には、同ネットワーク会議を、子ども・若者育成支援推進法に基づく「枚方市子ども・若者支援地域協議会」に位置づけ、各機関等が顔の見える関係を築くとともに、さまざまな状況のひきこもり等の子ども・若者に対し、切れ目のない適切な支援が行える体制作りをめざしています。

令和７年度は、偶数月に実務者会議を開催しました。また、２月に代表者会議を開催しました。

○令和７年度枚方市子ども・若者支援地域協議会
代表者会議

実施日	内　　容
代表者会議 ２月18日	・各機関における子ども・若者支援の取り組み状況や課題について報告 ・「社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者への支援および支援体制の在り方」と枚方市子ども・若者支援地域協議会・実務者会議の取り組みについて報告

実務者会議（ひきこもり等地域支援ネットワーク会議）

実施日	内　　容
第１回全体会議 ４月17日	・枚方市子ども・若者支援地域協議会　実務者会議について ・各機関からの自己紹介
第２回全体会議 ６月19日	「障害福祉サービスについて～自立支援のために～」 ・枚方市自立支援協議会 就労支援部会より ・グループワーク：事業所での支援につなげる際の工夫について
第３回全体会議 ８月21日	「精神科医療ニーズがある場合の心構え」 ・枚方市保健所保健医療課より ・大阪精神医療センターより ・グループワーク：「どんなときに受診を検討したか？」「受診の際、どんな準備をしているか？」
第４回全体会議 10月16日	事例検討 ・不登校・ひきこもり家族会連絡会より ・枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センターより ・グループワーク：各事例について、対応方法の意見出し
第５回全体会議 12月18日	「ひきこもり支援ハンドブックをもとに、ひきこもり支援を俯瞰してみよう」 ・大阪府こころの健康総合センターより ・グループワーク：「ひきこもり支援ハンドブック～寄り添うための羅針盤～」掲載項目の確認作業を通し、各参加者が普段どのフェーズの支援にあたっているか、について共有。
第６回全体会議 ２月19日	枚方市不登校ひきこもり家族会連絡会との合同研修会 「ひきこもり、不登校支援について～み・らいず２での取り組みを通して～」

※全体会議の前月に、次回の内容を検討する世話人会議を開催。

【代表者会議　構成機関】
（令和８年３月時点）
- 枚方市 観光にぎわい部 商工振興課
- 枚方市 健康福祉部 健康福祉政策課
- 枚方市 健康福祉部 健康福祉総合相談課
- 枚方市 健康福祉部 福祉事務所 障害支援課
- 枚方市 健康福祉部 福祉事務所 生活福祉課
- 枚方市 健康福祉部 保健所 保健医療課
- 枚方市 子ども未来部 子ども青少年政策課
- 枚方市 子ども未来部 まるっとこどもセンター
- 枚方市 教育委員会事務局 学校教育部 児童生徒課
- 枚方公共職業安定所
- 大阪府中央子ども家庭センター
- 大阪府枚方警察署
- 大阪府交野警察署
- 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター
- 一般社団法人枚方市医師会
- 枚方市民生委員児童委員協議会
- 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会
- NPO 法人枚方人権まちづくり協会
- 枚方・交野地区保護司会
- 枚方市青少年育成指導員連絡協議会
- 枚方市子ども未来部まるっとこどもセンター【子ども・若者支援調整機関（事務局）】

【実務者会議（ひきこもり等地域支援ネットワーク会議）案内送付機関】
（令和８年３月時点、32 機関・33 窓口）

- 枚方公共職業安定所
- 大阪府中央子ども家庭センター
- 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター
- 枚方市民生委員児童委員協議会
- NPO 法人枚方人権まちづくり協会
  枚方市地域就労支援センター
- 社会福祉法人枚方市社会福祉協議会
  枚方市いきいきネット相談支援センター
- 一般社団法人ステップフォワード
  北河内地域若者サポートステーション
  枚方市就労準備支援事業担当
- OSAKA しごとフィールド（JOB カフェコーナー）
- 枚方市障害者自立支援協議会幹事会
- 枚方市障害者就業・生活支援センター
- LITALICO ワークス枚方
- d-career（枚方駅前オフィス）
- CoCo　Color
- 訪問看護ステーション　デューン京阪
- 特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター
- 大阪府立寝屋川高等学校（定時制の課程）
- 大阪府立大手前高等学校（定時制の課程）
- 長尾谷高等学校
- 近畿情報高等専修学校
- あおい教育支援グループ
- 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会
- 株式会社京阪毎日舎
- 大阪府中小企業家同友会・枚方寝屋川交野支部
- 枚方市 観光にぎわい部 商工振興課
- 枚方市 健康福祉部 健康福祉総合相談課
- 枚方市 健康福祉部 福祉事務所 障害支援課
- 枚方市 健康福祉部 福祉事務所 生活福祉課
- 枚方市 健康福祉部 保健所 保健医療課
- 枚方市 子ども未来部 子ども青少年政策課
- 枚方市 子ども未来部 枚方公園青少年センター
- 枚方市教育委員会事務局 学校教育部 児童生徒課
- 枚方市 子ども未来部 まるっとこどもセンター

（ひきこもり等子ども・若者相談支援センター）【子ども・若者支援調整機関（事務局）】

２．実務者会議（ひきこもり等地域支援ネットワーク会議）の実施状況

会議の名称	令和7年度　枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議＜全体会議（4月）＞	
開催日時	令和7年4月17日（木）	14時00分から16時00分まで
開催場所	ラポールひらかた3階　研修室1	
出席者	枚方公共職業安定所：1人 大阪府中央子ども家庭センター：1人 大阪精神医療センター：1人 枚方市民生児童委員協議会：2人 NPO法人 人権まちづくり協会 　枚方市地域就労支援センター：1人 枚方市社会福祉協議会　枚方市いきいきネット相談支援センター：1人 （一社）ステップフォワード 　北河内地域若者サポートステーション：1人 　枚方市就労準備支援事業担当：1人 OSAKAしごとフィールド：1人 LITALICOワークス枚方第2：1人 d-career（枚方駅前オフィス）：1人 （特活）ひらかた市民活動支援センター：1人 CoCo　Color：1人	大阪府立寝屋川高等学校（定時制）：1人 長尾谷高等学校：1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会：1人 枚方市　健康福祉総合相談課：2人 枚方市　生活福祉課：2人 枚方市　保健所　保健医療課：1人 児童生徒課：1人 枚方公園青少年センター：2人 枚方市　子ども未来部　まるっとこどもセンター：4人 計29人
＜内容＞ ・事務局より、ひきこもり支援についての説明および実務者会議についての説明を行った ・事前のアンケートに基づき、各機関による自己紹介を実施した		

会議の名称	令和7年度　枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議＜全体会議（6月）＞	
開催日時	令和7年6月19日（木）	14時00分から16時00分まで
開催場所	ラポールひらかた3階　研修室1	
出席者	枚方公共職業安定所：1人 大阪精神医療センター：1人 枚方市民生児童委員協議会：2人 NPO法人 人権まちづくり協会 　枚方市地域就労支援センター：1人 枚方市社会福祉協議会　枚方市いきいきネット相談支援センター：1人 （一社）ステップフォワード 　北河内地域若者サポートステーション：1人 　枚方市就労準備支援事業担当：1人 OSAKAしごとフィールド：2人 LITALICOワークス枚方第2：1人 d-career（枚方駅前オフィス）：1人 （特活）ひらかた市民活動支援センター：1人 CoCo　Color：1人	大阪府立大手前高等学校（定時制）：2人 長尾谷高等学校：1人 近畿情報高等専修学校：1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会：1人 （株）京阪毎日舎：1人 枚方市　健康福祉総合相談課：1人 枚方市　生活福祉課：2人 枚方市　保健所　保健医療課：1人 児童生徒課：1人 枚方公園青少年センター：2人 枚方市　子ども未来部　まるっとこどもセンター （母子保健）：1人 枚方市　子ども未来部　まるっとこどもセンター：5人 計33人
＜内容＞ ・「障害福祉サービスについて～自立支援のために～」をテーマに、枚方市自立支援協議会 就労支援部会より情報提供 ・グループワーク：事業所での支援につなげる際の工夫について		

会議の名称	令和7年度　枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議＜全体会議（8月）＞	
開催日時	令和7年8月21日（木）	14時00分から16時00分まで
開催場所	ラポールひらかた4階　大研修室	
出席者	枚方公共職業安定所：1人 大阪府中央子ども家庭センター：1人 大阪精神医療センター：1人 枚方市民生児童委員協議会：2人 NPO法人 人権まちづくり協会 　枚方市地域就労支援センター：1人 枚方市社会福祉協議会　枚方市いきいきネット相談支援センター：2人 （一社）ステップフォワード 　北河内地域若者サポートステーション：1人 　枚方市就労準備支援事業担当：2人 OSAKAしごとフィールド：1人 d-career（枚方駅前オフィス）：1人 CoCo　Color：1人	大阪府立寝屋川高等学校（定時制）：1人 大阪府立大手前高等学校（定時制）：1人 長尾谷高等学校：1人 近畿情報高等専修学校：1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会：1人 （株）京阪毎日舎：1人 枚方市　健康福祉総合相談課：1人 枚方市　生活福祉課：1人 枚方市　保健所　保健医療課：1人 児童生徒課：1人 枚方公園青少年センター：2人 枚方市　子ども未来部　まるっとこどもセンター：5人 計31人
＜内容＞ 「精神科医療ニーズがある場合の心構え」をテーマに、枚方市保健所保健医療課、大阪精神医療センターより情報提供 ・グループワーク：「どんなときに受診を検討したか？」「受診の際、どんな準備をしているか？」についての意見交流		

会議の名称	令和7年度　枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議＜全体会議（10月）＞	
開催日時	令和7年10月16日（木）	14時00分から16時00分まで
開催場所	ラポールひらかた4階　大研修室	
出席者	枚方公共職業安定所：1人 大阪府中央子ども家庭センター：1人 大阪精神医療センター：1人 枚方市民生児童委員協議会：1人 NPO法人 人権まちづくり協会：2人 枚方市社会福祉協議会　枚方市いきいきネット相談支援センター：1人 （一社）ステップフォワード 　北河内地域若者サポートステーション：2人 　枚方市就労準備支援事業担当：1人 OSAKAしごとフィールド：1人 LITALICOワークス枚方第2：1人 d-career（枚方駅前オフィス）：1人 （特活）ひらかた市民活動支援センター：1人 CoCo　Color：1人	長尾谷高等学校：1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会：1人 枚方市　健康福祉総合相談課：1人 枚方市　生活福祉課：1人 枚方市　保健所　保健医療課：1人 枚方公園青少年センター：2人 枚方市　子ども未来部　まるっとこどもセンター：5人 計27人
＜内容＞ 事例検討 ・不登校ひきこもり家族会連絡会、枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センターより ・グループワーク：各事例について、適した自立の形や対応方法についての意見出し		

会議の名称	令和7年度　枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議＜全体会議（12月）＞	
開催日時	令和7年12月18日（木）	14時00分から16時00分まで
開催場所	ラポールひらかた4階　大研修室	
出席者	枚方公共職業安定所：1人 大阪府中央子ども家庭センター：1人 大阪精神医療センター：1人 NPO法人 人権まちづくり協会 　枚方市地域就労支援センター：1人 枚方市社会福祉協議会　枚方市いきいきネット相談支援センター：1人 （一社）ステップフォワード 　北河内地域若者サポートステーション：1人 OSAKAしごとフィールド：2人 LITALICOワークス枚方第2：1人 d-career（枚方駅前オフィス）：1人 CoCo　Color：1人	大阪府立寝屋川高等学校（定時制）：1人 近畿情報高等専修学校：1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会：1人 （株）京阪毎日舎：1人 枚方市　健康福祉総合相談課：1人 枚方市　生活福祉課：1人 枚方市　保健所　保健医療課：1人 児童生徒課：1人 枚方公園青少年センター：1人 枚方市　子ども未来部　まるっとこどもセンター：5人 計25人
＜内容＞ 「ひきこもり支援ハンドブックをもとに、ひきこもり支援を俯瞰してみよう」 ・大阪府こころの健康総合センターより、「ひきこもり支援ハンドブック」についての講義 ・グループワーク：「ひきこもり支援ハンドブック」掲載項目の確認作業を通し、各参加者が普段どのフェーズの支援にあたっているか、について共有。		

会議の名称	令和7年度枚方市子ども・若者支援地域協議会＜全体会議（2月）＞	
開催日時	令和8年2月19日（木）	14時00分から16時00分まで
開催場所	ラポールひらかた3階　研修室1	
出席者 （実務者）	枚方公共職業安定所：1人 大阪府こころの健康総合センター：1人 大阪精神医療センター：1人 枚方市民生児童委員協議会：1人 (特非)人権まちづくり協会 　枚方市地域就労支援センター：1人 枚方市社会福祉協議会　枚方市いきいきネット相談支援センター：1人 （一社）ステップフォワード 　北河内地域若者サポートステーション：1人 OSAKAしごとフィールド：1人 LITALICOワークス枚方第2：1人 d-career（枚方駅前オフィス）：1人 CoCo　Color：1人	大阪府立寝屋川高等学校（定時制）：1人 枚方市不登校・ひきこもり家族会連絡会：8人 枚方市　商工振興課：1人 枚方市　健康福祉総合相談課：1人 枚方市　生活福祉課：1人 児童生徒課：1人 枚方公園青少年センター：2人 枚方市　子ども未来部　まるっとこどもセンター：5人 計31人
＜内容＞ 枚方市不登校ひきこもり家族会連絡会との合同研修会として実施。 「ひきこもり、不登校支援について～み・らいず2での取り組みを通して～」 NPO法人 み・らいず2より、取り組みの経過を通して、当事者の社会参加や官民連携の工夫について講演いただいた。		

資料

【資料１】

枚方
Hirakata

2026年 復活号
ひらぽ
第45報

FREE

good trip

ひらぽう



特集：長らくの休刊から復活！

1 昼からそれ正解

ひらぽメンバーが思う、様々なお題の「正解」をご紹介！

2 ハリケンポテト

大好評過ぎて作りすぎた調理企画をご紹介！

3 桜を見る会

随分前に、みんなで桜を見に行ったときの写真をご覧ください。

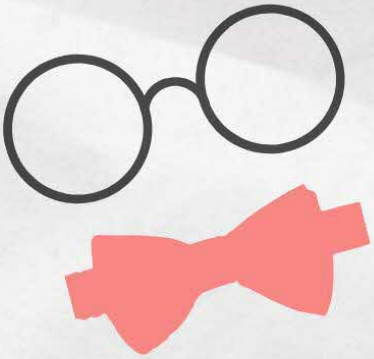
good day

企画　昼からそれ正解

こんちには、天の声担当の常磐兼成です。

6月に「昼からそれ正解」という企画を行いました。

「"あ"から始まる〇〇」などのお題について、メンバー各々が考えを発表しあって、最後にみんなでひらぽ的正解をきめました。



「い」ではじまる
頭が良さそうなもの

正解　　インテリ

その他　　医師

天の答え
イーロン・マスク

「ね」ではじまる
さわるとやわらかいもの

正解　　ねこ

その他　　ねんど

天の答え　　音色



「ぼ」からはじまる
貰って困るもの

正解　　墓石

その他　　ボスの地位
ボウリングのピン

天の答え　　僕

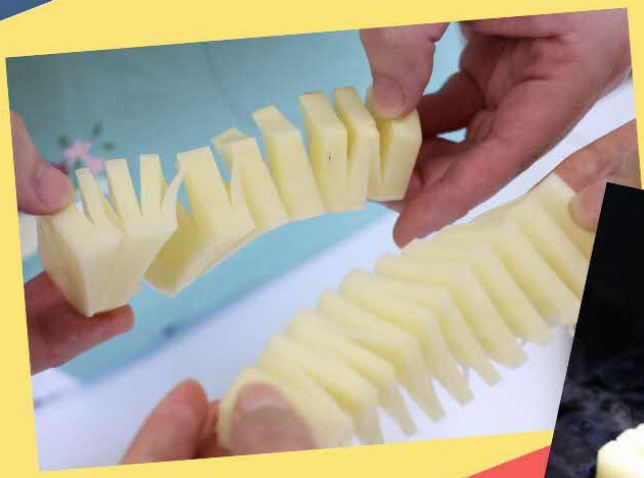
当時、ぼくは参加してなかったので空気感がわからないけれど、
全体的にお題が少し難しかったのじゃないかなと思います。
例えば、「ゆ」から始まる優れているものなど
明確な答えがあるものの方が良かったかも？
皆さんはこのお題なんて答えますか？



ひらぽ戦隊

ハリケンポテト

第31話　旬のポテト襲来！
美味しかったので作り方を紹介します



長方形に切ったジャガイモの上下に割りばしを置き、割りばしに当たるところまで2mm幅の切り込みを入れます。
裏返して、斜めにも2mm幅の切り込み入れます。



カリッとするまで揚げて、
熱いうちに塩をまぶします。



めちゃうま！！

完成

桜を見る会

天の川沿い







復活号では、休刊中に行った企画を一気に紹介させていただきました。中には数年前の企画も含まれています。
今後はもう少しコンスタントに発刊していきたいと思います！

この冊子は…

「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」の発行する“読み物”です。
主に居場所支援事業「ひらぽ」の活動内容の紹介や、参加者の自由な表現の場として作成しています。
紙面の作成はひらぽ利用者が行っており、編集、記事執筆、紙面デザインを担当してもらっています。
ひらぽの活動や、利用者さんの普段の生活など、興味深い情報が満載です。お楽しみください。



発行元・お問い合わせ先

枚方市　まるっとこどもセンター
ひきこもり等子ども・若者相談支援センター
電話：072-841-1126 / 相談専用電話：072-843-2255 / FAX：072-846-7952
当センターでは、相談・居場所「ひらぽ」・家族の会を行っています。

枚方市 ひこぼしくん

【資料２】

つながる相談会inひらかた

～定時制高校・通信制高校・高等専修学校など～

中学校卒業以降の進路には、全日制高校はもちろん、
定時制高校や通信制高校など、多様な選択肢があります。
ひとりひとりに合った様々な学び方に触れて、
次に”つながる相談会”を開催します。

令和７年 9月27日（土）13時～17時

場 所　ラポールひらかた４階・大研修室
（枚方市新町２丁目１番35号）

第 1 部　参加校によるパネルディスカッション
～さまざまな学びと選択の方法～

第 2 部　各ブースにて個別相談会
※相談支援窓口の情報や資料コーナーもあります。

出入り
自由です

参加校

大阪府立 寝屋川高等学校 定時制の課程
大阪府立 大手前高等学校 定時制の課程
近畿情報高等専修学校
長尾谷高等学校
あおい高等学院
KEC高等学院
KG高等学院　枚方キャンパス

申込期間
８月４日（月）10時～
９月26日（金）17時まで

定員など
事前申し込み 先着 80名
（当日参加枠もあります）
無料

申込方法
下記、申込フォーム、電話、ファックス、電子メール、来所にて、イベント名・氏名・連絡先電話番号またはメールアドレスを記入して、まるっとこどもセンターへ

対象
・中学卒業以降の進路について選択肢を知りたい本人やその家族
（中学生年代の方、高校生年代の方、それ以上の年代の方も）
・若者支援に関心のある方、支援者など

問い合わせ・申し込み先

枚方市 子ども未来部 まるっとこどもセンター
枚方市岡東町19-１OFFICE A ６階　（ひきこもり等子ども・若者相談支援センター）
電話：072-841-1126　FAX：072-846-7952　E-mail：maruko@city.hirakta.osaka.jp

市ホームページ

申込フォーム

【資料３】

令和7年度　　主催　枚方市　まるっとこどもセンター

ーひとりひとりが自分らしくー
子ども・若者支援のための市民講座

ひきこもりと家族の回復
～生きづらさとどう向き合うか～

講師：**益田　裕介** さん（早稲田メンタルクリニック 院長）

精神科医として、ひきこもりや発達障害等の高校生以上の方の診療にあたっておられる講師をお招きし、ひきこもりや家族支援についてお話いただきます。より楽に生きるために大切なことや、家族対応のヒントを学びます。

無料

会場開催：11/21（金）
10:00 - 12:00

定員 先着**100名**

枚方市総合文化芸術センター別館（旧メセナひらかた会館）
6階・大会議室　（枚方市新町2-1-5）

動画配信：12/5（金）～1/5（月）

お申し込み後、**12月3日（水）**までに閲覧用URLを送付します。

【申し込み】
10月31日（金）10：00～11月21日（金）

会場開催：
申込フォーム・電話・ファックス・電子メール・来所にて受付。
講座名、氏名、電話番号または電子メールアドレスを明記し、
まるっとこどもセンターへ。
※手話通訳をご希望の方は、講座の2週間前までにお申し込みください。

動画配信：
申込フォーム・電子メールにて受付。
講座名、メールアドレス、電話番号、動画配信希望
と明記し、まるっとこどもセンターへ。

お申し込みは こちらから▶

枚方市　子ども未来部　まるっとこどもセンター
（ひきこもり等子ども・若者相談支援センター）
枚方市岡東町19-1 OFFICE A 6階
TEL：072-841-1126　FAX：072-846-7952
E-Mail：maruko@city.hirakata.osaka.jp

【資料４】

ひきこもり女子会

in OSAKA 2市

令和8年 1/7 水 in 和泉

令和8年 3/6 金 in 枚方

ひきこもり状態にあったり、対人関係の難しさを感じているなど、さまざまな生きづらさを抱えている女性を対象に、当事者会を開催します。

ひきこもり状態にあったり、生きづらさを抱えて、
「こんな状態にあるのは自分だけではないか」「なんとかきっかけをつかみたい」
と感じている女性が集い、ひきこもりの体験談を聞いたり交流をする場です。
年齢を問わず、女性だけで安心して集まり、互いの経験を分かち合いながら
「ひとりではない」と思える場を一緒に作りたいと思っています。

対象者　ひきこもりや生きづらさの当事者・経験者である女性

※第１部は、女性であれば当事者・経験者ではない方もご参加いただけます。
第２部は、当事者・経験者である女性が対象となります。

主催 | 大阪府、和泉市、枚方市　　運営 | 一般社団法人ひきこもりUX会議

詳細はウラ面へ ▶▶▶

※本事業は、厚生労働省「令和7年度生活困窮者就労準備支援事業費等補助金」及び大阪府「子ども・若者チャレンジ応援自動販売機設置事業寄附金」を活用し、生活困窮者就労準備支援等事業（ひきこもり支援推進事業）及び青少年自立支援事業（居場所づくり事業）として実施しています。

ひきこもり女子会 in OSAKA 2市

in 和泉

開催日 令和8年1月7日(水)

会場 和泉市役所別館 3階
3-1・3-2会議室
[JR「和泉府中駅」より徒歩8分]
(和泉市府中町2丁目7-5)

定員 80名

in 枚方

開催日 令和8年3月6日(金)

会場 ラポールひらかた 4階
大研修室
[京阪本線・交野線「枚方市駅」より徒歩3分]
(枚方市新町2丁目1-35)

定員 80名

詳細は下記をご確認ください

2会場共通事項

時間 14:00–16:30 [開場13:40]
※開催日は会場毎に異なります　※途中休憩あり

参加費 無料・申込不要
※当日、直接会場へお越しください

内容 第1部：ひきこもり経験者による「体験談」(40分程度)

第2部：当事者・経験者のみの「グループトーク」(1時間30分程度)
テーマごとに少人数のグループに分かれて交流します。

※途中参加・退出、自主休憩ご自由に。
※第1部は、女性であれば当事者・経験者ではない方もご参加いただけます。第2部は、当事者・経験者である女性が対象となります。

一時保育について 枚方市の会場では一時保育があります。ご希望の方は、直接枚方市へ事前にお申し出ください。

枚方市　申込 要事前申込　締切 令和8年2月20日[金]　対象 4か月から就学前まで　定員 8名(先着)

[参加にあたって]
- 予期せぬ自然災害の発生等によってやむをえず開催を延期または中止する場合があります。
- 運営スタッフとして、準備・開場時間中に男性職員が会場内にいる場合があります。イベント開始後、男性職員は会場から退出します。
- 本イベントでは新聞・テレビ等の取材を受け入れる場合があります。その際は参加者の方々のプライバシーならびに場の安心・安全に細心の配慮をします。
- 上記の開催中止や取材等については、大阪府青少年支援課ホームページ及びひきこもりUX会議オフィシャルブログにてお知らせします。

※車いすの利用など配慮が必要な場合は、開催市の担当課まで事前にお申し出ください。

運営団体

ひきこもりUX会議

一般社団法人ひきこもりUX会議とは
不登校、ひきこもり、発達障がい、性的マイノリティの当事者・経験者らによって発足。当事者の視点から「生存戦略」の提案・発信を続けるクリエイティブチーム。2019年度より大阪府や府内の自治体と連携し「ひきこもり女子会 in OSAKA」をはじめさまざまな企画を実施している。

info@uxkaigi.jp
uxkaigi.jp
@uxkaigi

問合せ先

大阪府福祉部子ども家庭局
青少年支援課
TEL：06-6944-9147

①令和8年1月7日(水)開催
和泉市市民生活部
くらしサポート課
TEL：0725-99-8100

②令和8年3月6日(金)開催
枚方市まるっとこどもセンター
TEL：072-841-1126

【資料５】

枚方市子ども・若者支援地域協議会設置要綱

制定　平成 30 年 3 月 30 日枚方市要綱第 28 号
最終改正　令和 4 年 11 月 25 日枚方市要綱第 63 号

（設置）

第１条　社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者を包括的に支援するため、子ども・若者育成支援推進法（平成21年法律第71号。以下「法」という。）第19条第１項に規定する子ども・若者支援地域協議会として、枚方市子ども・若者支援地域協議会（以下「協議会」という。）を置く。

（所管事項）

第２条　協議会の所管事項（以下「所管事項」という。）は、次の各号に掲げるとおりとする。

⑴　社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に係る情報交換及び連絡調整を行うこと。

⑵　社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に必要な体制の整備についての検討を行うこと。

⑶　社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の具体的支援の内容についての協議を行うこと。

⑷　社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者の支援に係る調査研究、研修並びに広報及び啓発活動を行うこと。

⑸　前各号に掲げるもののほか、協議会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

（構成）

第３条　協議会は、次に掲げる機関等に属する者で構成する。

⑴　別に定める枚方市の機関

⑵　枚方公共職業安定所

⑶　大阪府中央子ども家庭センター

⑷　大阪府枚方警察署

⑸　大阪府交野警察署

⑹　地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター

⑺　一般社団法人枚方市医師会

⑻　枚方市民生委員児童委員協議会

⑼　社会福祉法人枚方市社会福祉協議会

⑽　特定非営利活動法人枚方人権まちづくり協会

⑾　枚方・交野地区保護司会

⑿　枚方市青少年育成指導員連絡協議会

⒀　前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める機関等

（子ども・若者支援調整機関）

第４条　法第21条第１項に規定する子ども・若者支援調整機関は、前条第１号に掲げる機関等のうちから市長が指定する。

（守秘義務）

第５条　協議会を構成する者及び構成していた者は、正当な理由なしに、当該会議（所管事項の遂行に伴う活動を含む。）を通じて知り得た秘密を漏らしてはならない。

（補則）

第６条　この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附　則

１　この要綱は、制定の日から施行する。

２　枚方市ひきこもり等地域支援ネットワーク会議設置要綱（平成24年枚方市要綱第64号）は、廃止する。

附　則［令和2年6月30日枚方市要綱第54号］

この要綱は、制定の日から施行する。

附　則［令和3年7月19日枚方市要綱第51号］

この要綱は、制定の日から施行する。

附　則［令和4年11月25日枚方市要綱第63号］

この要綱は、制定の日から施行する。



枚方市におけるひきこもり等の子ども・若者支援について
令和７年度の活動報告

令和８年９月発行

枚方市　子ども未来部
まるっとこどもセンター
枚方市岡東町１９－１ OFFICE A ６階
（ステーションヒル枚方）
TEL：０７２－８４１－１１２６（直通）
FAX：０７２－８４６－７９５２
e-mail：maruko@city.hirakata.osaka.jp